



縁(繋がり)

株式会社カドノブラシ製作所 代表取締役 葛野とみ子



平成22年の2月、株式会社カドノブラシ製作所は設立50周年を迎えました。それも取引先の銀行からお花の電報を頂きびっくりしました。「社長の誕生日じゃないですよ。」と事務員から言われ初めて気づいた次第です。

義父が昭和23年に創業し、昭和46年に故郷の丹波市に工場を新設しました。主人は40歳で父の後を継ぎ社長となりましたが、50歳で病気が発覚、それから闘病生活が始まりました。病気と闘いながら「会社には30人の従業員がいる。その一人ひとりに家族が4人いれば、120人の生活が自分の肩にかかっている。」と、何もかも一人で頑張っていました。しかし病気には勝てませんでした。

その後、経営のことも何もわからない私が主人の後を継ぎました。いろんな人にお世話になりアドバイスをしてもらいました。本社の社員や工場の社員達からは「先代の社長には大変お世話になったので、恩返しをするために頑張らせてもらいます。」と心丈夫な励ましの言葉をもらい、右も左も解らない私を変わりなく支えてくれ、会社は継続しています。本当に有難い事です。

社長になってからは、今までの仕事に対する考え方とは“180度”変らなければなりません。なかなか難しいものです。

社長就任後すぐにご縁があって、頼りになる社労士さんを紹介して頂き、またそのご縁で「FWN交流会」という女性経営者の会にも入会しました。昨年からは会長の大役を仰せつかり会員皆様のご協力を得て努力しております。

FWN交流会のメンバーは勉強熱心で教えられる事が沢山あります。昨年はiPadを使ってIT分科会も発足し、社内情報の共有やメールの一元管理

など今まで考えた事もなかった事にも挑戦しています。東日本大震災後は、すぐにBCP（緊急時企業存続計画）の策定手順を学び、緊急時に社員の雇用を守ること、顧客との取引を維持する必要性を感じました。

株式会社カドノブラシ製作所では、歯間ブラシのような身近な小さなブラシから大きな工業用ブラシまで幅広く取り扱っています。コスト重視で厳しい中、コストを下げる事も重要ですが、私たちにしか出来ない品質を守り続けたいという思いは絶対に変る事はありません。材料費が上がる一方で商品価格は下がりつつある現在、良い品質の商品を提供し続けることをお約束しています。

「どんな人にも必要とされるブラシを作りたい。」「どんな人にも使えるブラシを作りたい。」そんな熱い思いでブラシ作りに取り組んでいます。

これからも先代社長の言葉を私も引き継いで守り、本社や工場の社員達と共に一丸となって頑張っていきたいと思えます。

注：FWN交流会とは大阪府立産業開発研究所主催のセミナーを受講した女性経営者及び女性管理者で構成されています。

プロフィール

平成12年 株式会社カドノブラシ製作所

入社

平成17年 代表取締役社長に就任

現在に至る

FWN交流会 会長

事業内容：工業用ブラシ製造